

VF180 1.2x

46112

取扱説明書

この度はシーアンドシー製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みいただいた後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

お知らせ

耐圧検査合格シール
PASSED
SEA&SEA

このシールが貼られている製品は、シーアンドシー耐圧検査基準に基づいた検査に合格している製品であることを表しています。

本製品の外観に若干の色の差、または筋状のもの(エルドライン)が見える場合がありますが、製品の品質・性能上問題はありませんので安心してご使用ください。

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ここに示した注意事項は、人や製品への危害や損害を未然に防止するための重要な内容を記載しています。内容をよく理解してから製品を正しく安全にお使いください。

警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

注意 取り扱いを誤った場合、ケガを負う可能性および物的損害の発生が想定されます。また、製品の品質・信頼性が損なわれる可能性が想定されます。

△警告

●レンズを通して太陽を見ないこと。目に損傷を受ける恐れがあります。
●本製品を太陽に向けて置かないこと。焦点を結び、火災の原因になります。

△注意

●本製品を絶対に分解・加工・改造しないでください。浸水や故障の原因になります。分解・加工・改造品の浸水・破損等の保証はいたしかねます。修理や内部の点検は、ご購入の販売店にご相談ください。
●カメラ・ストロボ・ライト・アクセサリー類は確実に固定し、落下・紛失などにご注意ください。また、必要以上に曲げたり、力を加えたりしないでください。思わぬケガや破損・故障の原因になります。
●ファインダーは確実に固定し、落下・紛失などにご注意ください。故障の原因になります。なお、固定のゆるみ等による落下・破損・損傷等が生じた際のカメラ・ハウジング等の補償につきましてはご容赦ください。
●ファインダーを寒いところから暖かいところ、また暖かいところから寒いところに移すと、ファインダーの外部や内部に水滴が付着(結露)する場合があります。そのような場合は、事前にファインダーを周囲の温度になじませてから取り付けてください。
●砂やホコリ等のかかる場所での取り付けは避けてください。ネジ等に砂をかみ、取り付け不良の原因になります。
●本製品を落としたり、振り回したり、撮影機材を持ったままボートから海に飛び込んだり、機材を海に投げ込んだり、強い衝撃を与えないでください。思わぬケガや破損・故障の原因となります。
●高温になるところに放置しないでください。特に炎天下や真夏の車内、車のトランクの中は異常に高温になりますので絶対に放置しないでください。
●水に濡れたところや湿気の多い場所で本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
●製品を濡れたまま放置しないでください。水滴がついたまま放置しますと、シミ・ムラとなって残ってしまう恐れがありますので、キズがつかない柔らかい布などで水滴をよく拭き取ってください。
●本製品の使用において、万一、お客様の取り扱い上の不注意による破損・損傷などが生じた際のカメラ・レンズ、その他のアクセサリー等の交換・補償はいたしかねます。
●万一本製品の不具合により撮影できなかった場合、撮影内容・撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。
●本書の記載内容の誤りなどについての補償はご容赦ください。

Oリングの取扱いに関するご注意

Oリングの機能を十分に生かすため、以下にご注意ください。取扱いが不適切だと浸水の原因になります。

△注意

●弊社製品は青色のOリングを使用しています。このOリングは特殊な加工により、シリコンオイルを内部に閉じ込めてあります。徐々にシリコンオイルが内部よりしみ出してある程度の間、潤滑効果が持続します。
●このOリングのお手入れには、必ず、弊社製純正シリコングリス(青色Oリング用O-RING GREASE:文字、キャップが青色のもの)をご使用ください。他社製のシリコングリスや弊社の文字が黒色のシリコングリスを使用されると、青色Oリングの特殊な性質により塗られたグリスを吸い込んでしまい、逆にグリス切れの状態になってしまいます。一度でもこの状態になるとOリングは元に戻りませんので、必ず交換してください。
●グリス切れの状態では、Oリングは滑らず防水部分の開閉が固くなります。それにより、開閉ができないことや浸水の原因となることもありますので、グリス切れの状態のままで使用は避けてください。

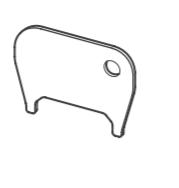
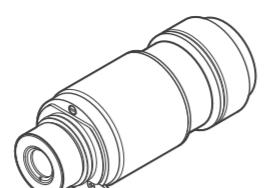
お手入れと保管上のご注意

●薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
●レンズにキズ、汚れ等がつかないよう十分にご注意ください。汚れ等がついたときは、プロアーチャンプラシで取り除いてください。指の跡などは、市販のレンズクリーナー液とレンズクリーニングペーパーで軽く拭いてください。
●ご使用になった後は、充分に真水につけてから流水で洗ってください。可動部分は動かしながら洗ってください。
●充分に真水に浸けなかつたり、流水で洗うだけでは塩分が残り、乾燥すると塩は結晶となり水に溶けにくくなります。本製品に付着した塩の結晶は非常に取れにくく、サビや腐蝕の原因になることもありますので、必ず真水に浸けてください。
●水洗いした後は、乾いた柔らかい布で水気をよく拭き取り、陰干しにして乾かしてください。
●水に濡れたところや湿気の多い場所では本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
●熱を発生する器具で強制的に乾燥させることは、変形や損傷の原因となることがありますのでやめください。
●長期間ご使用にならないときは、高温・高湿、直射日光の当たる場所や、極寒になる場所を避けて保管してください。
●ナフタリンや樟脑の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
●ご使用の頻度や保管状態によっても異なりますが、製品の性能を維持するために、オプションのVF45 1.2X用スペアOリング(62152)をお買い求めになり、1年毎に1回を目安にOリングを交換してください。
●ご使用の頻度や保管状態によっても異なりますが、製品の性能を維持するために、お買い上げいただいたから2年毎に1回を目安に、オーバーホール(有料)にお出しになることをおすすめします。

同梱品を確認しましょう

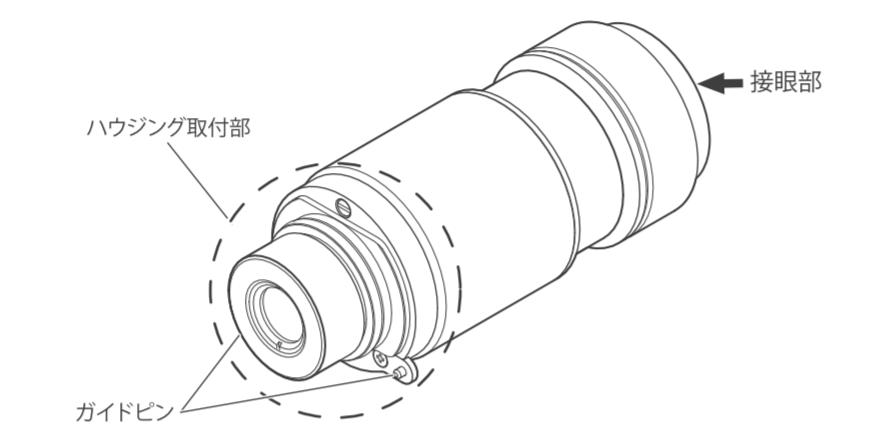
VF180 1.2x

リング取付工具

スペーサー
(MDX-PRO 5D Mark II用)取付リング
(装着済)レンズキャップ
(装着済)● MDX-PRO 5D Mark II以外
のハウジングには使用しません。プロテクターキャップ
(装着済)

● VF180 1.2 x 取扱説明書(本書)

各部の名称



対応ハウジング

本製品は下記の弊社製ハウジングに取り付けることができます。

- MDXシリーズ: MDX-PRO D700, MDX-PRO 5D Mark II, MDX-D300s, MDX-7D, MDX-D7000
- RDXシリーズ: RDX-600D

※MDX-40D, MDX-D300, MDX-PRO D3, RDX-550Dにつきましては、弊社カスタマーサービスセンターにてハウジングの部品(液晶モニター窓)を対応品に交換した場合に限り、本製品を取り付けることができます。

(2011年12月現在)
※最新の情報につきましては、弊社ウェブサイト(<http://www.seaandsea.co.jp>)をご覧ください。

本製品は、上記以外のハウジング(DXシリーズなどぞい穴の無いもの)には対応していません(取り付けできません)のでご注意ください。
詳細につきましては、弊社営業部(TEL. 03-5701-5533)までお問い合わせください。

△注意

対応ハウジング以外の製品に取り付けて使用しないでください。対応ハウジング以外で本製品をご使用になった場合の保証はいたしかねます。

取り付けの準備

リング取付工具をご使用の際は、リアケース内側の部品に触れないように十分にご注意ください。思わぬケガや破損・故障の原因になります。

△ハウジングの準備

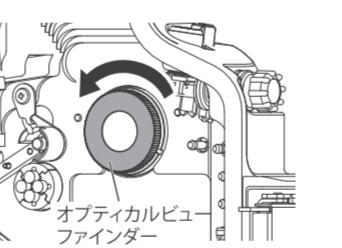
ファインダーユニットを取りはずす

ハウジングに装着されているファインダーユニットを取りはずします。

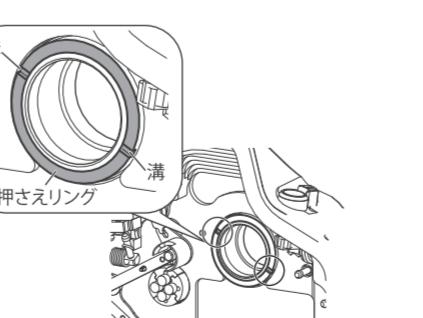
1 ハウジングのリアケース内側からオプティカルビュー

ファインダーを反時計方向にまわして取りはずす(図1)

- ファインダーを取りはずす際は、ファインダーのレンズに触れないようご注意ください。



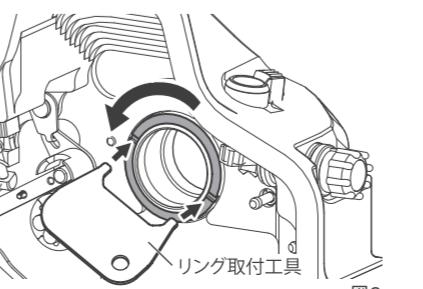
2 押さえリングの溝を確認する(図2)



3 押さえリングの溝に付属のリング取付工具を差し込み、

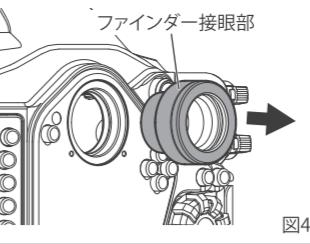
反時計方向にまわして押さえリングを取りはずす(図3)

- リアケース外側からファインダー接眼部を押さえてください。



4 フайнダー接眼部をまっすぐに引き抜いて取りはずす(図4)

- ファインダー取付穴(Oリング接触面)にキズを付けないようにご注意ください。
- ファインダー接眼部を取りはずした後のファインダー取付穴(Oリング接触面)に、キズや汚れ、ホコリ・異物等の付着がないことを確認してください。



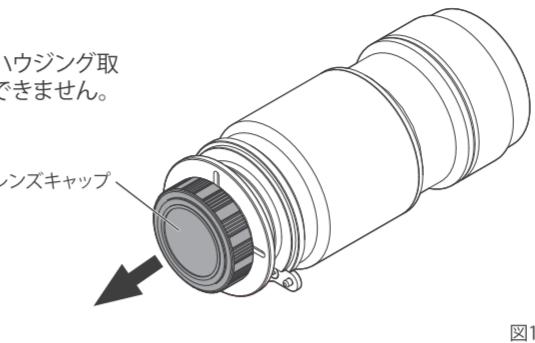
本製品の準備

装着品を取りはずす

本製品に装着されているレンズキャップと取付リングを取りはずしてください。

1 レンズキャップを取りはずす(図1)

- 本製品をハウジングに取り付けた後は、ハウジング取付部にレンズキャップを装着することはできません。



2 取付リングを反時計方向にまわして取りはずす(図2)

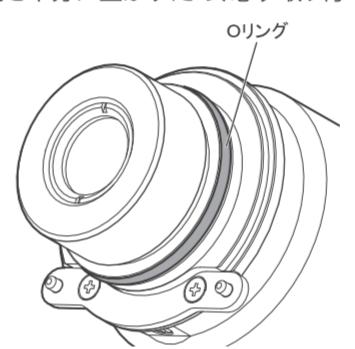
- 取付リングは、本製品をハウジングに取り付ける際に使用します。
- ファインダーのレンズに触れないようご注意ください。



Oリングのメンテナンス

本製品はOリングで防水性能を保っています。Oリングの機能を十分に生かすため、必ず取り付けの前にOリングをメンテナンスしてください。

- Oリングは必ずはずしてメンテナンスしてください。
- Oリングの詳しいメンテナンス方法につきましては、カメラハウジングに付属のOリングメンテナンスマニュアルをご覧ください。
- 基本的にOリングの耐久年数は1年です。使用回数や保存状態などにより異なりますが、早めの交換をおすすめします。



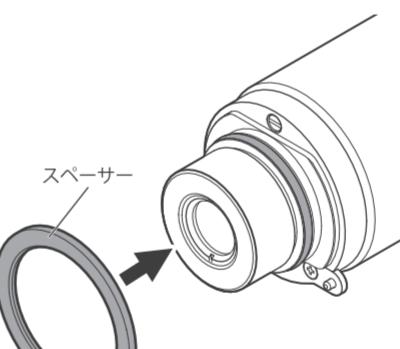
MDX-PRO 5D Mark IIをご使用の場合

本製品をMDX-PRO 5D Mark IIに取り付ける場合は、下記の手順で付属部品のスペーサーを本製品にセットしてください。

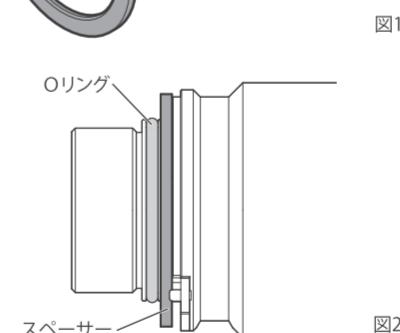
※本製品をMDX-PRO 5D Mark II以外のハウジングに取り付ける場合、スペーサーは使用しません。

1 スペーサーをハウジング取付部にセットし、奥まで押す(図1)

- ファインダーのレンズに触れないようご注意ください。
- レンズ面にグリスや汚れ等が付着した場合は、キズの付かないやわらかい布などで拭き取ってください。



2 スペーサーがOリングの位置よりも奥側にセットされていることを確認する(図2)

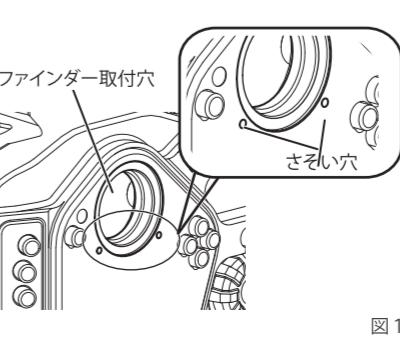


取り付け方法

△注意

- 本製品を弊社製ハウジングMDX-40D, MDX-D300, MDX-PROD3, RDX-550Dのいずれかのハウジングに取り付ける場合は、事前に弊社カスタマーサービスセンターにてハウジングの液晶モニター窓を交換する必要があります。本製品に取り付ける前に、交換作業が完了していることを確認してください。
- 本製品をMDX-PRO 5D Mark IIに取り付ける場合は、ハウジング取付部にスペーサーがセットされていることを確認してください。
- リング取付工具をご使用の際は、リアケース内側の部品に触れないよう十分にご注意ください。思わぬケガや破損・故障の原因になります。

1 フайнダーユニークを取りはずしたリアケースのファインダー取付穴(Oリング接触面)に、キズや汚れ、ホコリ・異物等の付着がないことを確認する(図1)

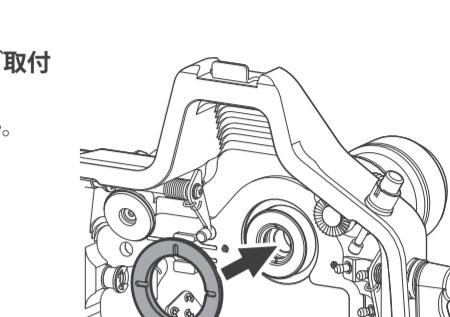


2 フайнダー取付穴下部のぞい穴を確認する(図1)



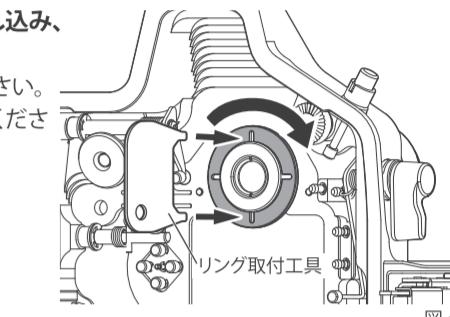
3 ぞい穴にガイドピンが入るように、本製品のハウジング取付部をファインダー取付穴にまっすぐに差し込む(図2)

- ファインダー取付穴(Oリング接触面)にキズを付けないようにご注意ください。
- ファインダー取付部を取りはずした後のファインダー取付穴(Oリング接触面)に、キズや汚れ、ホコリ・異物等の付着がないことを確認してください。



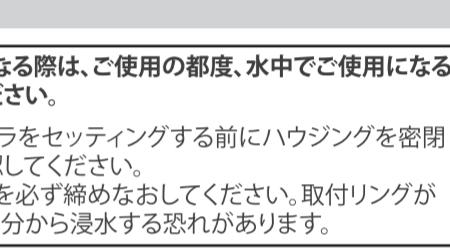
4 リアケースの内側から、取付リングをハウジング取付部にセットする(図3)

- リアケース外側から本製品を押させてください。



5 取付リングの溝に付属のリング取付工具を差し込み、時計方向に止まるまでまわして固定する(図4)

- 必要以上に取付リングを締め付けないでください。
- 取付リングは、ご使用前に必ず締めなおしてください。



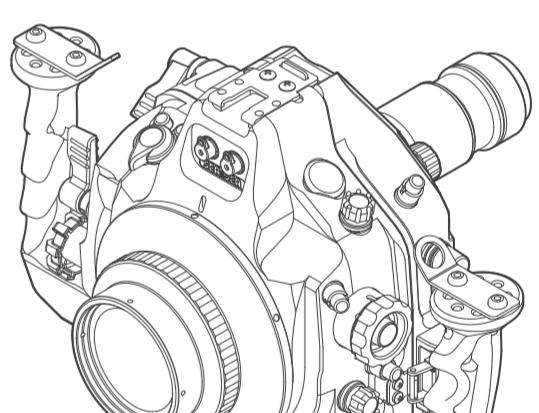
取り付け後のご注意

重要: 本製品を取り付けたハウジングをご使用になる際は、ご使用の都度、水中でご使用になる前に、必ず下記の確認作業をおこなってください。

- 取付部分の防水機能をチェックするため、カメラをセッティングする前にハウジングを密閉した状態で真水に沈め、浸水が無いことを確認してください。
- 付属のリング取付工具を使用して、取付リングを必ず締めなおしてください。取付リングがゆるんだままの状態でご使用になると、取付部分から浸水する恐れがあります。

△注意

- 本製品を取り付けたハウジングは、本製品が極度に突出しています。ぶつかって折れたりしないようにご注意ください。
- 本製品を取り付けたハウジングを持ち運ぶ際は、必ずハウジング本体やグリップ等をお持ちください。本製品を持ってハウジングを持ち上げたり、運んだりしないでください。落下・破損など、思わぬケガや故障の原因になります。



使用方法

ご使用の際は、接眼部のプロテクター・キャップを取りはずし、接眼部(レンズ)の中央部分をまっすぐに(レンズに対して垂直に)のぞいてください。